

令和2年度 教科シラバス（デザイン・アートコース）

教科	地歴	科目	日本史 A
単位数	2	考査	年間 2 回
教科書	日本史 A 現代からの歴史 (東京書籍)	副教材	日本史 A ワークノート (東京書籍)

学習目標

- ・中学「歴史」での学習の復習もしながら、日本の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき、地理的 条件や世界の歴史と関連づけて、現代につながる生きた歴史を学習する。
- ・日本史の学習を通して、将来の日本を担う国民としてふさわしい歴史的教養を身につけ、主体的に生きる日本人としての自覚と資質を育てる。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は、P 2～9 5 までを学習。 ・学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ○私たちの時代と歴史 <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちと歴史の結びつき ○近代日本の形成 <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際情勢の変化と明治維新 ○東アジア世界の変動と日本 <ol style="list-style-type: none"> 1. 日清戦争と近代社会の確立 2. 日露戦争と帝国日本の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書はP 9 6～2 0 0 までを学習。 ・学習の中心は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ○二つの世界大戦と日本 <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一次世界大戦と帝国日本 4. 太平洋戦争 ○第二次世界大戦後の国際社会と日本 <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代世界の開幕と日本の戦後改革 ○現代の世界と日本 <ol style="list-style-type: none"> 2. 冷戦の終焉と日本

学習方法

- ・教科書本文を丁寧に読む。
- ・教科書にでている基本的な歴史知識をしっかりと理解する。
- ・歴史事件の理解が困難な部分については、授業時に質問して明らかにする。
- ・主な歴史上の人物について、関心を持って調べて見る。

評価方法

授業態度、提出物、考査の成績を総合的に判断して評価する。